科目名 Course　Name	開講年次	開講学期	曜日・時限
Culture Studies Ⅱ Culture Studies Ⅱ	2年	後期	別途、時間割参照

単位数	授業の形態	授業の性格	履修上の制限
1単位	演習	選択　（特になし）	英語フィールド以外の学生で履修を希望する場合は担当教員に相談すること。

当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目

異文化間コミュニケーションⅠ

同時に履修しておくことが望まれる科目

異文化間コミュニケーションⅡ

担当者に関する情報

氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
堤　裕美子	講義棟3階	火曜日午後、金曜日午後	授業中に指示します

授業の概要

この科目は、アカデミック・イングリッシュ科目です。Academic Englishというのは、目的が英語の勉強ではなく、それどころか英語を利用して別のことを勉強する。このCulture Studies IIのトピックは、世界中の色々な国の人々の日常生活です。。

授業の目標

①世界各地で話されている英語を聞き取れることができるようにする。
②文化を知り、理解を深めるための単熟語を覚え、文章を読んだり会話で使えることができるようにする。
③得た知識を利用して、自分自身を語り、相手を知るための会話表現を使えることができるようにする。
④グローバルなコミュニケーションスキルを実践できるようにする。

授業の方法

テキストの各章にバランスよく作成された練習問題を解き、リスニングとスピーキングのコツを学んでいく。学習したことを生かして、短時間でもある特定の話題を巡って楽しくスマートに会話を楽しめる技術を磨く。

学習の成果（学習成果）

①世界各地で話されている英語の特徴を判断し、適切な対応ができるようになる。
②相手や自分を知るために必要な単熟語、表現を使うことができる。
③テキストのモデル会話をマスターし、話題が続く英会話ができる。
④グローバルなコミュニケーションスキルを実践できることで自信をつけることができる。

授業のスケジュールと内容

第1回目	ガイダンス・概要説明（担当：堤　裕美子）
第2回目	Unit 1 Vacations
第3回目	Unit 2 Growing Up
第4回目	Unit 3 Entertainment
第5回目	Unit 4 Food and Drink
第6回目	Unit 5 Travel & Tourism

第7回目	Unit 6 Education
第8回目	Unit 7 Fashion
第9回目	Unit 8 Living Abroad
第10回目	Unit 9 Working Life
第11回目	Unit 10 Health
第12回目	Unit 12 Student Life
第13回目	Unit 14 Shopping
第14回目	Unit 19 Money Matters
第15回目	Unit 23 Dating and Marriage

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	学習箇所の下調べをして授業に臨み、発表担当学生の説明や発表内容は的確にメモを取る。ペアワークやグループワークでは協調性を高め授業に積極的に参加する態度を評価する。
レポート		
調査報告書		
小テスト	10%	既習内容から単熟語の意味、リスニングのテストを実施し、習熟度を評価する。
試験	30%	リスニングのテストにより、学習習熟度を評価する。
発表内容（態度含む）	40%	発表担当箇所に関連する興味あるトピックを調べ、レポートにまとめる。
その他		

教科書と参考図書

World Interview（成美堂）

履修上の留意点・ルール

辞書は調べるものではなく読むものとして、辞書を効果的に利用し言葉の世界を広げる姿勢を。学習した内容を実践で使えるよう繰り返し練習に励んで下さい。食べ物飲み物持ち込みは厳禁。